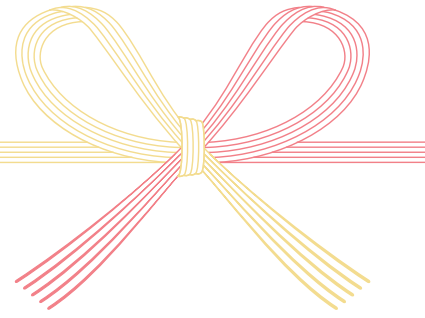
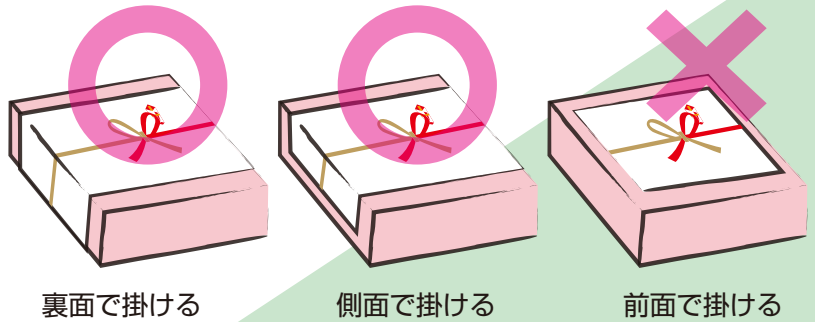


のし紙「掛け方」のマナー



■のし紙の正しい掛け方■

適切なサイズののし紙を選ぶ時は、贈答品の外装箱のサイズ(縦・横・厚み)に似合ったのし紙のサイズ(縦・横)を選ぶことが基本ですが、その前提として正しい掛け方を認識した上で選ぶ必要があります。



裏面で掛ける

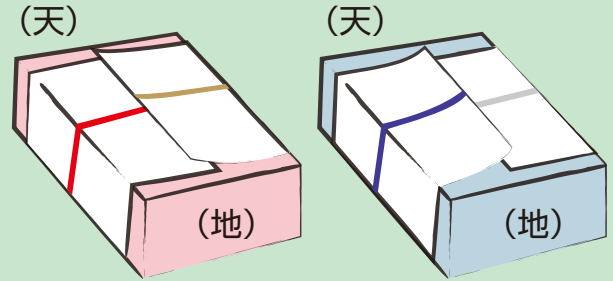
側面で掛ける

前面で掛ける

■のし紙の慶事掛けと弔事掛けの違い■

のし紙の左右の両端が裏面で交わる場合に限り、お祝い事は「慶事掛け」に、お悔やみごとは「弔事掛け」に区別して重ね合わせるのがのし紙の正しい掛け方です。

裏返した贈答品の外装品の天地に対して、「慶事掛け」は向かって右側に位置するのし紙の端を上(右前)交わり重ね合わせるように掛け、「弔事掛け」は向かって左側に位置するのし紙の端を上(左前)交わり重ね合わせるようにして掛けます。

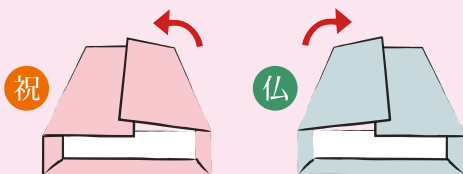


慶事掛け

弔事掛け

祝儀と仏事 包装紙 包み方の違い

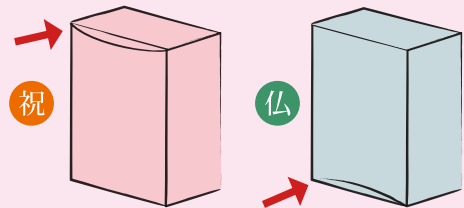
キャラメル包み 合わせの左右が違います



キャラメル包みは、風呂敷やふくさの時と同様に、合わせ目の左右の重なり方で祝儀と仏事を分けます。

- ・祝…右の紙が合わせ目の上
- ・仏…左の紙が合わせ目の上

斜め包み 重なる部分の上下が違います



斜め包みは「多当のし袋」と同じく、袋状になる合わせの上下で祝儀と仏事を分けます。

- ・祝…合わせから入った福を逃がさないよう下で受ける
- ・仏…頭(こうべ)を垂れて悲しみを合わせから流す